

クラシック音楽への誘い
聴いて語らうひととき



オペラ歌手の岡村彬子さんによる演奏のほか、名曲に隠れたエピソードや聴きどころを解説。さらに演奏家と語らう時間も。奥深いクラシック音楽の世界を、一緒に旅してみませんか？

12/16 土曜日 午後3時30分～5時
東京未来大学
音楽実習室(B322教室)集合

講師：森 薫氏(東京未来大学専任講師)
岡村 彬子氏(声楽家)
内村 真凜氏(ピアニスト)
渡辺 亜沙氏(ピアニスト)
会場：東京未来大学音楽実習室
(千住曙町34-12、B322教室)
対象：16歳以上の方
定員：30人(事前申込先着順)
受講料：1,000円(一律)

日本の復習シリーズ 「意外と知らない神社参拝の仕方」



知っているようで知らない神社の参拝の仕方やその意味。鳥居のくぐり方や手水の作法。茅の輪は何故6月と12月に飾られるのか。そのくぐり方は。仲町氷川神社、大川町氷川神社の宮司さんが解説します。

12/17 日曜日 午後2時～3時
仲町氷川神社集合

講師：竹内 一郎氏
(仲町氷川神社、大川氷川神社宮司)
会場：仲町氷川神社
(足立区千住仲町48-2)
対象：16歳以上の方
定員：20人(事前申込先着順)
受講料：無料
保険料：10円(現地で徴収)

学びピアノコンサート 津軽三味線
あべや 響・歌・演・舞



「あべや」は津軽三味線の全国コンクールで優勝した阿部金三郎・銀三郎を中心に結成された津軽三味線、民謡を中心とした日本民族音楽芸術集団です。津軽三味線の激しいリズムを堪能していただく第1部、尺八と歌と踊りが加わり華やかな邦楽の世界をお楽しみいただく第2部。あべや一座が皆様をお待ちしております。

12/2 土曜日 午後2時～3時30分

出演：あべや
会場：4階 講堂
対象：16歳以上の方
定員：198人(事前申込先着順)
受講料：1,200円(一律)
※招待券でお申込みの方は電話・窓口で招待券での申込と伝えてください。インターネットの場合は備考欄にご記入ください。

今から考えておきたい祖先のお墓・自分のお墓・祭祀継承



「終活シリーズ」の一つとして開催。お墓の種類や墓地の形態と特徴、祖先のお墓をどうするか、新しいタイプのお墓について等学びます。

12/5 火曜日 午前10時～正午

講師：明石 久美氏
(明石シニアコンサルティング代表)
会場：5階 研修室1
対象：16歳以上の方
定員：40人(事前申込先着順)
受講料：500円(一律)

日本の復習シリーズ
「日本の歴史的な家屋探訪会」



東京は震災や戦火などにより多くの文化遺産が失われてきました。江戸東京たてもの園では、現地保存が不可能な文化的価値の高い建造物を移築・保存し、次代に継承しています。失われてゆく江戸・東京をボランティアガイドと一緒に巡りましょう。

11/7 火曜日 午後1時～3時
(午後0時30分現地正面入り口集合)

会場：江戸東京たてもの園
(小金井市桜町3-7-1
都立小金井公園内)
対象：16歳以上の方
定員：20人(事前申込先着順)
受講料：410円(一般、保険料込)
210円(65歳以上の方、保険料込)
10円(障害者手帳をお持ちの方、保険料のみ)
※現地までの交通費は実費

はじめての遺言書・遺産分割協議書の書き方



「自筆証書遺言」「公正証書遺言」など遺言書の種類の説明、保管の仕方、家庭裁判所や公証役場の役割と料金など具体的な内容で遺言書作成のノウハウを学びます。残された遺言書に対するの遺留分のこと、遺言書がない場合の遺産分割協議書の作り方も学びます。相続税の算出方法なども具体例をあげながら説明します。

11/26 日曜日 午後2時～4時

講師：高橋 一也氏
(ファイナンシャルプランナー、相続診断士)
会場：5階 研修室3
対象：16歳以上の方
定員：30人(事前申込先着順)
受講料：500円(一般)
350円(高割・障割)

地域のちからコブ!
vol.59

「足立区自然体験指導員」 永田 久男さん



左から自然体験指導員の垣内重徳さん、永田久男さん、小林勝さん、新田自然保護の会の山田静さん、相田滋子さん



夏はじゃぶじゃぶ池で生きもの探し



仕掛けにどんな虫が入っているかな?

自分の背丈より大きい捕虫網を持った子どもたちの真ん中に永田さんがいました。

身近な自然を守りながらその楽しみ方などを広める足立区自然体験指導員は、現在10名の方が活動されています。その中のおひとり、永田久男さんをお訪ねしました。

「多くの人と足立の自然の中で楽しみたい!」そんな指導員の有志が集まり、自然体験会を開催。荒川にかかる鹿浜橋付近の河川敷、都内では珍しいクロメダカの学級が見られる水辺です。ここは東京都民ゴルフ場でしたが2008年に半分が閉鎖。跡地に地域の人々の自然保護の熱き要望で、生態系と生物多様性の保護、ワンド・干潟等を設置し、子どもが自然を学べる「新田わくわく♡水辺広場」が誕生しました。

その後、発展的に自然との共生への活動の一環として、ゴミ拾いやクラフト作り、また近隣の皆さんと協力し合い芋煮会を開催。今年も12月に予定しています。7年程前、わかば保育園園長の「子どもたちを自然と遊ばせたい」との要望に応え、園児の自然体験会は、現在新田地区8園も参加されています。この日は蝶々やバツ

タを「つかまえられるかなビンゴゲーム」の楽しい企画。採取が終わった大きな柳の下、永田さんは子どもたちに笑顔で説明します。「おんぶバツは小さい方がオスで、メスがおんぶするんだよ」「鳴く虫は保育園に離して、秋の鳴き声を聞くのはどうかな」園児たちは目を輝かせ季節を体で感じていました。

近年「外来生物やヘドロなどで、自然も守り切れなくなってきた。水辺の保全へ組織あげての取組みが願いです」と語る永田さん。折しもオリンピック会場の水辺汚染がニュースで報じられ、自然を守ることは、地域や人、行政が力を合わせて創り上げていく未来への課題です。自然体験指導員の方々、新田自然保護の会の皆様、これからも子どもたちの未来のため、活動をお願いします。(広報ボランティア小林)

